

# 議会から こんにちは

2019

1.1  
平成31年



笹川むもん氏作

 さの  
市議会だより

■特集  
**年頭の決意**

—市議会議員、今年の抱負を語る—



あけまして  
おめでとう  
ございます

- ① 所属会派
- ② 住所
- ③ 自宅電話番号
- ④ 今年の抱負



議長

井川 克彦

① 政友みらい

② 植野町 2 1 3 8 - 1 1

③ (24) 2 8 4 0

④ 昨年は、栃木県市議会議長会の会長市である佐野市から提出した国土強靱化計画策定の推進に関する議案が、関東市議会議長会での採択を経て、全国市議会議長会において採択され、政府ならびに国会への要望事項として盛り込まれました。

今年度も議会から全国に向けて佐野市をアピールすると同時に、議会基本条例、市議会議員政治倫理条例の制定を目指し、開かれた魅力ある議会の実現のため、引き続き議会改革を積極的に推進してまいります。



副議長

本郷 淳一

① 公明党議員会

② 大橋町 3 1 7 3 - 5

③ (23) 2 1 0 0

④ 人口減少社会を迎え、暮らしやすさと持続可能な都市づくりが大変重要です。今年もクリケットタウン佐野を推進し、天明鑄物等の本市特有の資源を活かして都市ブランド化を図るとともに、地域経済の発展、交流人口と定住人口の増加を目指してまいります。そのためには、国道50号沿線等の開発が欠かせません。

更に、医療・福祉の充実、活力あるまちづくりの推進や安全・安心のまちづくりの実現に全力で取り組んでまいります。



慶野 常夫

① 政友みらい

② 下羽田町 1 0 2 5

③ (23) 8 6 6 2

④ 佐野市でも地方創生の取り組みが進められております。特に、人口減少問題の改善が喫緊の課題であり、いかに人口減少に歯止めをかけるかが重要となっております。少子高齢化の課題改善として、高齢者の福祉の充実、働きながら安心して子育てができる環境整備などを推進します。そして、「笑顔あふれる佐野市」を目指し、皆さまの思い・声を議会の場で訴え実現できるように、取り組んでまいりたいと思います。



川嶋 嘉一

① 政友みらい

② 関川町 9 0 6 1 2 9

③ (24) 6 5 7 8

④ 地方創生の時代を迎え、自立可能な自治体経営が求められている中、魅力ある佐野市にするために定住促進に向けて全力で活動します。また、全国各地で大規模災害が発生し、「安全・安心」に対する意識が一層高まる中、自然災害や悪質な犯罪などから市民を守る「安全・安心」なまちづくりに取り組みでまいります。併せて私のライフワークである教育問題、教育環境の充実と明日を担う子どもたちや人材の育成に努めてまいります。



菅原 達

① 公明党議員会

② 堀米町 1 1 0 1 5

③ (21) 5 6 0 3

④ 「世界中の誰一人取り残されない」包括的な社会を目指す、SDGs（エスディーズ）の理念に深く共鳴し、佐野市における「持続可能なまちづくり」を推進してまいります。具体的には、森林の適正管理による環境保護と林業の成長産業化、認知症予防の取り組み、障がいのある無やひきこもりの状態にかかわらず、誰もが認め合い支え合える安心の居場所づくり、そして、防災士をリーダーとした安全なまちづくりの推進などです。



木村 久雄

① 公明党議員会

② 閑馬町 1001

③ (65) 1729

④ 急速な進行の様相をみせる人口減少や少子高齢化の影響により、医療・福祉の充実や、子育て・保育・教育環境の充実、そして、安全・安心な住環境の整備等の変革の必要性が高まってきております。

私は、市民生活の更なる向上を図るために、皆様お一人お一人の「声」を市政にお届けし、佐野市の良き次代を築くため、「現場第一主義」のモットーを掲げて、直面する喫緊の課題に全力で取り組んでまいりる所存であります。



横井 帝之

① 新風

② 浅沼町 831-1

③ (21) 2842

④ 昨年は国際クリケット場の完成や田村耕一生誕100周年イベント等の明るい話題が佐野市に賑わいをもたらしました。しかし、まだまだ地方都市には厳しい環境が続きます。特に、子どもの貧困や障がい児の生活環境には地域の協力が必要となってきました。また、健康寿命、平均寿命を伸ばせるような積極的な取り組みも必要です。

今年もより一層皆様と力を合わせ、誰もが心豊かに暮らせる明るい地域を目指して頑張るまいりますと思っております。



早川 貴光

① 会派に属さない議員

② 天神町 720

③ (23) 3911

④ 少子高齢化による人口減少社会、そして、労働人口不足、世帯収入の減少による共働き世帯は増加傾向にあり、継続して取り組む課題です。交流拠点都市を標榜する佐野市として、ICTも積極的に活用し、長所を全国、全世界に情報発信し、交流人口の増加を目指します。併せて、雇用の安定、子育て・教育、公共交通福祉をブラッシュアップすること、定住人口を増やし、住みよい楽しさあふれるまちづくりに取り組み、課題解決に努めます。





小倉 健一

① 会派に属さない議員

② 出流原町 2 1 2 0

③ (25) 0 4 1 0

④ 昨年は、日本一の暑さとなった佐野市。異常気象により全国的にも災害が多発しました。安心・安全の生活が何よりの基礎。心の備えとともにハザードマップ等の情報共有、自主防災組織の運営維持などに努めなくてはなりません。

今年、平成から新しい元号に。日本女性会議が佐野市へ。佐野市が広角的な視野をもって力をつける年であります。市民の皆さん一人一人が輝き、ますます「美しいまち佐野市」となりますように邁進いたします。



金子 保利

① 会派に属さない議員

② 高萩町 1 2 0 6 1 6

③ (22) 2 2 3 9

④ 少子高齢化の波が顕著に現われてまいりました。出生数は、3年連続100万人を割り込むことが懸念され、また、栃木県の新成人は、2万人台をкаろうじて保っております。このような人口減少問題は、近未来の日本経済の停滞を招くこととなります。このことは、子育てや母親支援などの事業をおろそかにしたツケが回ってきたことでもあります。佐野市の発展を考慮した場合、より一層の子育て支援事業を積極的に推進するよう活動してまいります。

私たちが住む佐野市においても、50年・100年に一度の予期せぬ災害がいつ発生するか分かりません。常日頃より万に備えた準備が必要です。地域と行政の安全・防災対策に積極的に取り組みます。



亀山 春夫

① 政友みらい

② 船越町 1 7 1 8 1 1

③ (62) 3 2 6 2

④ 昨年度は、西日本豪雨、土砂崩れや巨大台風が日本列島に6個上陸、北海道胆振東部地震などの大きな被害が発生しております。同地方被害が深刻化しております。復興途上にある中で大変なご苦労、ご心痛をお察し申し上げます。

私たちが住む佐野市においても、50年・100年に一度の予期せぬ災害がいつ発生するか分かりません。常日頃より万に備えた準備が必要です。地域と行政の安全・防災対策に積極的に取り組みます。



小暮 博志

① 政友みらい

② 馬門町 1 5 9 7

③ (23) 8 2 6 3

④ 今年の干支は亥であり、亥年生まれの方の性格は、人間関係を重視し、人を大切に行っている暖かい心の持ち主で、努力家と  
のことは。私の干支でもあり、  
性格を十分発揮し、毎日活動を  
してまいりたいと思います。

また、亥は無病息災の象徴でもあり、今年は、佐野市民一人一人がもつと健康を意識し、元気で明るい生活ができるよう  
努力する必要がありますと考えてお  
ります。そのための推進にも更  
に力を注いでまいります。



若田部 治彦

① 公明党議員会

② 奈良湊町 6 7 0

③ (21) 2 8 5 1

④ 人口減少時代を迎え、また、経済のグローバル化によって人の国際移動が更に活発化傾向にあります。「多文化共生のまちづくり」(国籍や民族など異なる人が互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうと  
しながら共に生きていくこと)  
を推進することによって、地域の活性化が地域産業・経済の振興に繋がると考えています。  
そのため今後は、地域住民の異文化理解力と異文化コミュニケーション力の向上が重要と考え  
ます。

また、今年最大の大会である日本女性会議が佐野市で開催されます。そこで、この大会を契機に近隣自治体と連携を強める中で、共生のまちづくりの意義を深め  
広げ、前進できるように努めて  
まいります。



横田 誠

① 新風

② 栃本町 2 3 3 1 3

③ (62) 1 0 8 6

④ 創生総合戦略のもとに限られた人口の中で、人を奪い合う自治体間の競争が一層激しさをま  
しています。これからは、近  
隣自治体同士がそれぞれの強み  
を活かし、補完し合う共生のま  
ちづくりが重要だと考えます。

今年最大の大会である日本女性会議が佐野市で開催されます。そこで、この大会を契機に近隣自治体と連携を強める中で、共生のまちづくりの意義を深め  
広げ、前進できるように努めて  
まいります。



田所 良夫

① 新風

② 赤見町 3 2 5 6

③ (25) 0 2 3 3

④ 人口減少、世帯数増加、核家族化が進行し、少子高齢社会を迎え、子育て支援整備の推進として待機児童の解消を目指すとともに、高質な雇用の創出環境づくり、そして、世界一の長寿国となった超高齢社会の充実を目指し、明るく豊かで健やかな超高齢社会の実現を目指し、生きがいづくり、遊び場づくり、ふれあいの場づくり、健康寿命延伸の環境づくりに取り組んでまいります。



久保 貴洋

① 蒼生会

② 閑馬町 1 6 6 9

③ (65) 0 3 1 0

④ 佐野市の産業振興、特に中山間地域の再興を働きかけ、もう一度稼げる地域“農山村復興に對して建設的な提案・提言をしてまいります。

中山間地域の豊かな自然と食文化を最大限に活用し、地方を活性化させることこそ、地方創生のスタートであり、我々議員の使命でもあります。また、国、県、市と連携して減災対策に取り組む、危険箇所早期改善を行うことで市民サービスの向上に努めます。



鈴木 靖宏

① 蒼生会

② 越名町 3 1 3

③ (87) 4 1 1 5

④ 新しい年と地域環境に合った施策目標として、国道50号線沿線開発の促進と市内主要幹線道路との連結強化を図り、渡良瀬川架橋を具現化することにより、交流人口の増加や災害時の緊急輸送路・避難道路としての活用ができません。また、近年の集中豪雨等の異常気象にも対応できる一級河川及び準用河川の整備強化が求められています。更に、特別支援学校に通う子ども達のために旧船津川小学校等、閉校後の跡地有効利用を提案致します。





岡村 恵子

① 日本共産党議員団

② 富岡町 1 3 8 1 2

③ (24) 2 7 3 8

④ 新年を迎え、いかがお過ごしですか。

今多くの皆さんが、災害やくらし、健康や子育てなどで不安を感じているのではないでしょう。行政の仕事は「市民の安心」のために全力を尽くすことです。「市民が納めた税金は、市民のために使う」この当たり前前のごことを、私は議会のたびに求めてきました。

明るい陽ざしがふりそそぐ温かい日のように、この街に住んで良かったといえる市政をご一緒につくっていきましょう。



鶴見 義明

① 日本共産党議員団

② 会沢町 5 3 6 1 1

③ (85) 3 6 8 7

④ 景気は回復傾向にあるといわれていますが、本当にそうでしょうか。私たちの暮らしには全く感じられません。その上半金は減り続け、更に、10月からは消費税率の引き上げが行われ、ますます日々の暮らしが大変になります。財政が厳しいといわれますが、市民の暮らしを守ることは自治体としての役割です。限られた財源でいかにして市民のための市政に取り組むかが問われています。その実現のために全力を尽くします。



山菅 直己

① 政友みらい

② 葛生西 3 1 1 2 1 7

③ (85) 2 6 4 5

④ 人づくり・夢のもてる街づくり・心の通い合える街・社会づくりをモットーに、市民の皆様と共に活動してまいります。

第2次総合計画が策定されました。財政の厳しいなか住みよい街づくりの推進を図るとともに、中山間地域の活性化に取り組めます。地の利を活かした企業の誘致、産み育てできる事業の支援、教育環境の整備、福祉・医療体制の確立を推進して安全で安心して暮らせる住みたくなる環境づくりを進めます。





篠原 一世

① 政友みらい

② 下羽田町 1 0 3 1 1 3

③ (22) 6 0 1 7

④ 今世界は保護主義、戦略的覇権主義を主張する大国に翻弄され、国際的環境が危惧されており、日本においては少子高齢化が進展し、大都市と地方の格差解消に苦慮しております。

佐野市も第2次総合計画・前期基本計画を策定し、市民の安全・安心を最重要課題とし、更に県南の中核市を目的に限られた財源確保と財政運営を全市内配分とする中、選択と集中による持続可能な市政運営で、未来に希望の持てる佐野市づくりを頑張ります。



春山 敏明

① 新風

② 赤坂町 6 5 1 4

③ (24) 0 3 7 4

④ 去り行く平成の時代は、景気低迷に憂い、更に少子高齢化による労働力人口減少による財政への影響が不安視されつつあります。本市は、定住促進に軸足を置き、雇用の場、子育て等の職住及び教育環境の充実を目指してまいります。議会は、全てを公開、報告会を催し皆様と次代に向け研鑽に努めています。気候変動による災害の多発化やロボット技術等の進化は、今後、私達に大きく影響するものと思われ、新元号の次代、確固たる佐野市を築きます。

新元号の次代、確固たる佐野市を築きます。



飯田 昌弘

① 蒼生会

② 堀米町 8 1 1 7

③ (22) 8 5 2 3

④ 急速に進む人口減少、少子高齢社会。全世界で起きた天変地異。日本も猛暑、豪雨、多くの台風、地震の発生で安全に対する不安意識が高まるなど、大きく変わる社会環境に対応し、次世代に誇りをもつて繋いでいく社会をつくるため、若い世代の希望を叶える結婚・出産・子育て環境の創造。未来を拓く地域教育の再生。産業振興による新たな雇用の創出。人材の定着・還流・移住の推進を図り安心して暮らせるよう全力投球致します。

安心して暮らせるよう全力投球致します。

自然災害を減少させる森林環境の保全、少子化にも対応する義務教育校の新設と教育の充実、市民病院の民間譲渡による地域医療の充実と継続、増え続ける鳥獣と被害防止対策の更なる強化、空き家対策による移住・定住の促進、中山間地域の活性化など、安全・安心の街づくりに取り組んでまいります。

① 蒼生会  
② 仙波町 2845  
③ (85) 3054  
④ 市議会の役割は地方創生時代到来の中、行政チェック機能だけではなく、政策提言や、情報発信により市民の皆様の負託に応えることが重要です。



高橋 功



佐野ブランドキャラクター さのまる

**議員の年賀状等  
あいさつ状は  
法律により禁止  
されています**



議員は、公職選挙法の規定により、選挙区内の方に年賀状等のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除きます）を出すことは禁止されています。

皆様のご理解をお願いいたします。

※表紙絵は笹川むもん氏の作品です。

笹川むもん(育也)氏のプロフィール

**PROFILE**

- 1954 栃木県佐野市に生まれ
  - 1972 三代目加茂蕃山に師事(富山県南砺市井波)
  - 1979 日展初出品初入選 以後連続15回入選〜'94まで出品
  - 1984~86 日彫展 奨励賞連続3回受賞
  - 1986 富山県美術展 県展大賞
  - 1987 日彫展 日彫賞
  - 1993 ポーランド石彫ワークショップ招待(グダニスク)
  - 1997 第26回現代日本美術展 佳作賞  
マロニエ文化賞
  - 1999 第14回国民文化祭・ぎふ彫刻コンクール 文部大臣賞
  - 2001 木彫展とミクストメディア展(佐野市文化会館)
  - 2002 砺波市美術館 第5回至高の精神展「興廃風雅」
  - 2003 トリエンナーレ2003神通峡美術展 大賞
  - 2006 となみの美術展2006 となみの美術大賞  
第45回アートナウKANAZAWA 中日大賞展グランプリ
  - 2007 全国木彫刻コンクール 国際木彫刻キャンプ賞
  - 2010 砺波市主催 笹川むもん彫刻展「MUMONISM!」
  - 2013 佐野市主催 笹川むもん彫刻展(佐野市未来館)
  - 2017 全国木彫刻コンクール 準大賞  
東京国立博物館所蔵重文 エラスムス立像 複製制作  
その他個展多数
- 現住所：富山県南砺市井波2514-2



# 佐野市議会ホームページから ライブ中継や録画映像を配信しています

※ 録画映像は、会議の翌日（土日・祝日を除く）からご覧いただけます。  
（4年間保存）



## 佐野市議会 議会中継



- ライブ中継
- 議員名から選ぶ
- 会議名から選ぶ
- 一般質問の語句から選ぶ

クリック



■動画の再生にはFlash Playerが必要となりますので、ダウンロードは下記URLから行ってください。  
<http://get.adobe.com/jp/flashplay>  
※本製品は以下の環境で動作確認しております。

- ライブ中継
- 議員名から選ぶ
- 会議名から選ぶ
- 一般質問の語句から選ぶ

【編集委員会】

委員長 川嶋嘉一

委員 横田 誠

委員 菅原 達

委員 亀山春夫

委員 久保貴洋

平成31年の新春を迎えましたが、平成も残り数ヶ月となりました。地方創生の時代を迎え、議員活動は、市民と行政との協働における架け橋としての役割がますます増大しています。

各議員の念頭の決意には、佐野市の発展に対して並々ならぬ情熱が感じられます。市民の皆様の声を謙虚に取り入れながら、議員活動に精進するとともに、今後も、わかりやすい市議会だより、「議会からこんにちは」の発行に努めてまいります。

(川嶋記)